

## 26 血液検査で 何が分かるのでしょうか? -その②

**A** 肝臓の状態を、より細かく確認していきます。

### ● 肝機能やがんの疑いなども

血液検査には、肝細胞の状態や肝細胞の障害・胆汁の流れだけではなく、肝機能やがんの疑いなどを調べる項目も含まれています。肝臓の状態を知るために、より細かくチェックしていきます。

### 肝機能をチェック

Alb(アルブミン)	基準値 4.1~5.1g/dL
肝臓で作られるたんぱく質の代表です。肝臓病が進行し肝機能が低下するとこの値が低下します。	
ChE (コリンエステラーゼ)	基準値 男性:240~486 U/L、 女性:201~421 U/L
肝細胞で産生され、肝の蛋白合性能を反映し、栄養状態の指標となります。肝硬変、低栄養状態で低下、有機リン中毒で著減します。過栄養状態、非アルコール性脂肪性疾患 (NAFLD) で上昇します。	
PLT(血小板)	基準値 15.8~34.8×10 <sup>4</sup> /μL
血液中の成分で、出血を止める働きをしているので、数が減少すると出血しやすくなります。肝臓病が進行し、肝臓が硬くなってくと血小板数が徐々に減少します(ただし、血小板数が減少する病気は他にも数多くあります)。	

## 血液検査について

PT(活性値%)	基準値 80~120% (INR:0.90~1.13) プロトロンビン時間活性値(%) 国際標準比 (INR) <sup>※※</sup> ※※ INR:international normalized ratio
<p>肝臓が合成する血液凝固因子のひとつである、プロトロンビンの活性を測定したものです。肝機能が低下すると、血液中のプロトロンビンが減少して、血液が固まるのに時間がかかるようになり、活性値も低下します。</p>	

## 肝臓の硬化をチェック【線維化マーカー】

ヒアルロン酸	基準値 50ng/mL以下
IV型コラーゲン7S	基準値 6ng/mL以下
M2BPGi	基準値 1.00未満
オートタキシン	基準値 男性:0.91mg/L以下、女性:1.27mg/L以下
FIB-4 index	P34 参照
<p>肝臓病が進行すると肝臓が硬くなる(線維化)ことがあります。これらは一般に「線維化マーカー」と言われており、肝臓病が進行し肝臓が硬くなるとこの値は上昇します。</p>	

## がんの疑いをチェック【腫瘍マーカー】

AFP	基準値 10ng/mL以下
PIVKA-II	基準値 40.0mAU/mL未満(EIA法、ECLIA法)
AFP-L3分画	基準値 10%未満
<p>がんが産生する物質で一般に「腫瘍マーカー」と言われています。これらは肝がんの診断や治療効果判定に用いられます。いずれのマーカーも肝がんの早期には上昇しないこともあります。また、AFPやPIVKA-IIは慢性肝炎や肝硬変でも上昇することがあります。なお、ワーファリンを飲んでいる方はPIVKA-IIは高値となるため結果の判定には注意が必要です。</p>	

※「線維化マーカー」及び「腫瘍マーカー」の基準値は、日本肝臓学会(編集)肝臓専門医テキスト(改訂第3版)を参照しておりますが、検査機器や検査機関によって異なることがあります。